

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和8年第8週 (2月16日～2月22日)

インフルエンザがさらに増加しました

今週の報告数は138人となり、先週の101人からさらに増加しました。型別ではA型が2人、B型が136人と、ほぼB型となっています。豊肥管内の定点あたりの報告数も19.60人と、先週の19.20人からさらに増加し、引き続き流行発生注意報レベルです。型別でもB型の割合が97%となっています。大分県全体の定点あたり報告数は45.17人となり、先週の64.43人から減少しましたが、まだまだ流行発生警報レベルとなっています。

インフルエンザB型は、通常のインフルエンザの症状に加えて、小児では腹痛、下痢、嘔吐などの消化器症状が出やすいといわれています。今シーズン、インフルエンザA型に1度感染された方も、再度インフルエンザB型にかかることがあります。手洗い、咳エチケット、換気など、基本の感染対策を行い、感染防止に努めてください。

こども予防接種週間について

令和8年3月1日から3月7日までの7日間は「子ども予防接種週間」です。

4月からの入園・入学に備え、予防接種漏れがないかご確認をお願いします。

通常の予防接種時間帯で来院することが難しい方々のために、通常の予防接種時間帯外や土曜などに予防接種が行われます。医療機関によって受けることができる予防接種の種類や実施する時間帯が異なりますので、詳しくは大分県のホームページやお住まいの自治体などに確認し、接種を希望する医療機関へお問い合わせください。

大分県では、特に小学校就学前に実施する麻しん風しん混合ワクチンの接種率が全国と比べて低い状況となっています。予防接種を行うことで、強力な感染力を持つ麻しん・風しんの集団発生を防ぐことができますので、まだの方はご検討ください。

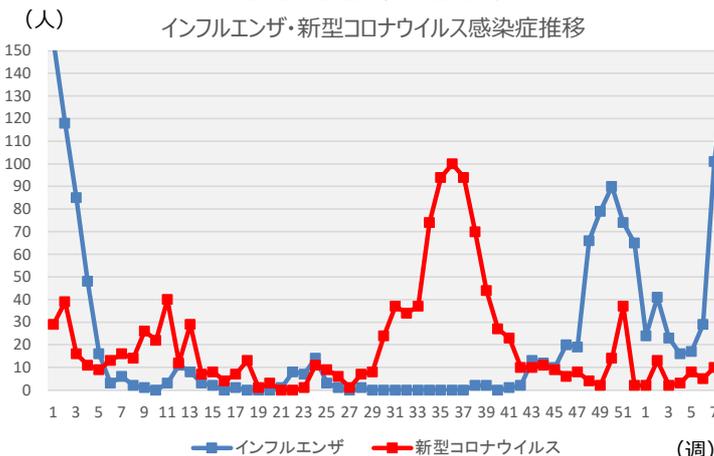
大分県ホームページ : <https://www.pref.oita.jp/soshiki/12220/kodomo-vaccine.html>



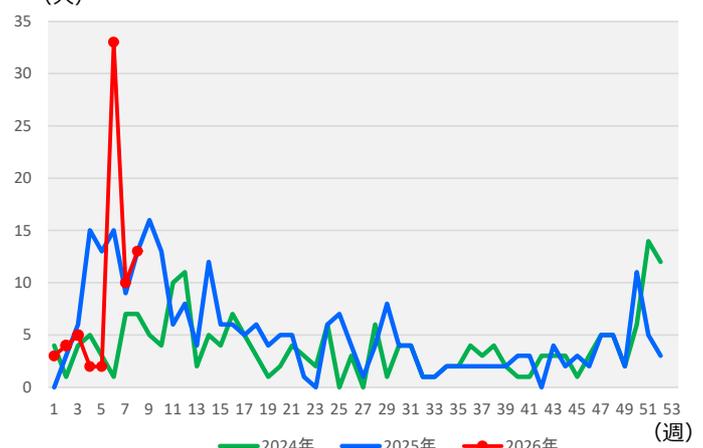
(第8週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)	
	A型	B型	不明																	
0歳		1																		
1～3歳		4						7												
4～6歳	1	14						2			2									
7～9歳		26						1												
10～14歳		38																		
15～19歳		15																		
20歳以上	1	38		9				3												
今週	2	136		9				13			2									
	138																			
70歳以上(再掲)				6																
先週	2	99		10				10			3									

2025-2026年 竹田地域
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症推移



(人) 感染性胃腸炎竹田市8医療機関総数



冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

正しい手の洗い方



① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。



② 手の甲を伸ばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。



⑦ 石けんを流水で洗い流します。

せき 3つの咳エチケット



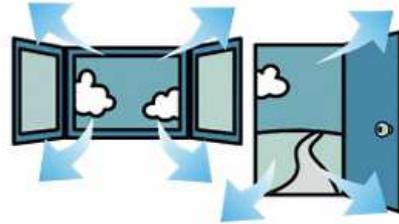
マスクで

ティッシュ・ハンカチで

そでで

口と鼻をしっかり覆いましょう！

こまめな換気



寒いと、つい窓を閉めっぱなしにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ替えましょう。

でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状
この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など

基本的な感染症対策を心がけましょう！

伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性のある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 厚生労働省

感染症対策課 2025年5月作成



子ども

予防接種週間

令和8年
3月1日(日)
～
7日(土)



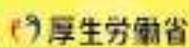
4月からの入園・入学に備えて
必要な予防接種をすませ、
病気を未然に防ぎましょう!

予防接種を
受ける際には、
母子健康手帳を
忘れずに!

● 予防接種に関する質問は、当院にご相談ください。● 接種希望者は予約してください。

当院では子ども予防接種週間中

ワクチン接種を実施します。



後援 文部科学省 備やか親子21推進本部